

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55 °C ~ 85 °C	保存温度範囲	-10 °C ~ 60 °C (注1)	
	電 圧	AC 50 V	使用湿度範囲	相対湿度 95%以下 (注2)	
	電 流	0.3 A	保存湿度範囲	40 % ~ 70 % (注1)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz)で測定する。	(注3) **mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	100 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 100.8 N 以下 引抜力 4.2 N 以上	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗:初期からの変化量20mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40°C、湿度 90~95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗:初期からの変化量20mΩ以 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +85°C 時間 30 → 30分 を 5 サイクル試験する。 (槽の移し変え時間は2~3分とする。)		○	—
	耐熱性	温度 85 °C中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗:初期からの変化量20mΩ以 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55 °C中に 96 時間放置する。		○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	接触抵抗:初期からの変化量20mΩ以下	○	—
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2 °C、75±5 %RH 96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)			
※試験規格の記載のない試験方法は、IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。					
△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
△					
備考			承認	MK. EZAKI	16.04.25
注1. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。			検図	MK. EZAKI	16.04.25
注2. 結露しないこと。			担当	MK. NAGATA	16.04.25
注3. 接触抵抗値はスタックハイト11mmの場合、95mΩ以下となる。スタックハイトが1mm高くなる毎に、 接触抵抗規格値は5mmΩ高くなる。			製図	KT. AIZAWA	16.04.25
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番 SLC-354342-03-00		
HRS	製品規格表		製品名 FX10-168IP-8PH(03)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード CL608-0006-7-03		
				△	1/1